

那須南部の秋山をめぐる

那須岳・牛ヶ首・南月山

実施日	2010年10月11日(月・祝)~12日(火)
天候	11日晴れ 12日曇り一時雨
リーダー	馬場清士 サブリーダー島本陳重
参加者	若村貴世子、佐藤金治、馬場清士、福島政幸、島本陳重、山崎富美恵、鈴木恵美子、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、石原勝正 計14名
費用	23,100円(交通費概算14,000円 宿泊費9,100円)
タイム	11日 那須塩原駅(9:15 バス)中曾根(12:05)大丸温泉(12:30)山麓駅(13:00~13:06 ロープウェイ)山頂駅(13:10~13:30 昼食)茶臼岳(14:13~14:24)峰ノ茶屋跡(15:05)大黒屋(16:20)泊
	12日 大黒屋(7:35)姥が原分岐(8:05)沼原分岐(8:55)ひょうたん池(9:30)牛ヶ首(10:10~10:20)日の出平(10:42~10:50)南月山(11:15~11:45 昼食)黒尾谷岳(12:35)登山口(13:50)あけぼの平付近(14:30 タクシー)那須塩原駅(15:10)

天気快晴、総勢14名予定通り那須塩原駅を9時15分発のバスに乗る。順調に那須街道を走っていたが、途中から渋滞が始まりバスが動かなくなった。

バスを降りることを決め中曾根のバス停で下車した。既に2時間50分を経過していた。ロープウェイ山麓駅まで約1時間歩かされることとなった。

ロープウェイ山頂駅で昼食を摂り約3時間遅れで出発した。

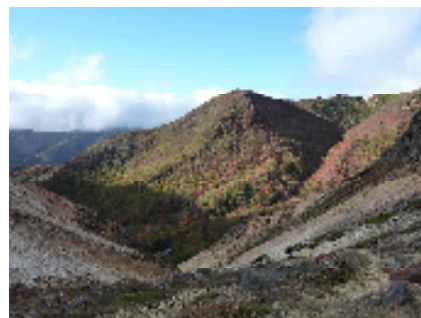
多くの観光客が茶臼岳を目指している。歩きにくい火山岩と火山灰のざれた道を行く、周囲の山は緑と赤、黄のコン



トラストを描いている。茶臼岳の山頂は人々でいっぱい、お釜回りをして峰の茶屋跡に下る。

朝日岳、隠居倉を経由して三斗小屋へ向かう予定であったが、渋滞の影響で時間が無くなり、やむなく峰の茶屋跡から三斗小屋へ下ることにした。

自然林の中、紅葉を楽しみながら笹で覆われた道を行く。三斗小屋温泉は鎌倉時代ごろからある那須の名湯として人気のある温泉だ。今日の宿泊は大黒屋、食事が各部屋に運ばれてくる個人膳で知られている。



12日多少曇り気味の朝である、7時半過ぎに宿を出発、黄葉の林の中を沼原分岐から姥ヶ原へ向かう。姥ヶ原は茶臼岳

の裾に広がる草原で、周囲の稜線の黄葉が素晴らしく、アマチュアカメラマンや観光客で賑やかだ。ひょうたん池に足を延ばし、牛ヶ首の稜線まで一気に登る。目の前に茶臼岳の無限地獄が噴気をあげている、紅葉とマッチし素晴らしい。南に下り痩せ尾根を登ると日の出平だ、マツムシソウが咲いていた。笹原を下り登り返すと南月山、ここからが那須南部の山だ。

昼食を摂り始める頃からガスが出てきた。黒尾谷岳を目指し南に急降下を始め、鞍部から登りに掛るころからポツポツと招かざる客がやってきた。黒尾谷岳に着くころはかなりの雨足となり雨具を着ける。樹林帯の中、滑る急傾斜を一気に下り、黒尾谷岳登山口に出た。

雨も上がり那須ハイランドの別荘地の中を暫く歩き、予約してあったタクシーに乗り那須塩原駅に着いた。黄葉の中、楽しい2日間でした。お疲れ様でした。

(記&写真・馬場 清士)

